

施策番号	5
------	---

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	5	生涯学習
5年後のまちの姿	<p>○あらゆる年代の市民が芸術に触れ、学ぶ意欲を満ち、学んだことを生かしたり、発表したりすることができる場があるまちになっています。</p> <p>○こうした活動を通じて、生きがいや多世代とのつながりを持ち、豊かな人生を送る市民が増えています。</p>	
施策展開の基本的な考え方	<p>行政は、芸術に触れる機会や活動場所の確保、団体間の交流の促進、情報提供等の支援によって、市民が生涯学習活動に取り組みやすい環境づくりと自主的な活動の支援を行います。</p> <p>市民等は、芸術鑑賞や芸術活動を含めた多様な学習機会への積極的な参加や企画・運営への参画を通じて自ら学び、交流するよう努めます。</p>	
実現に向けた取組	<p>①市民が参加しやすい多様な学習機会の提供</p> <p>②市民による自主的な活動の育成・支援</p> <p>③活動拠点の整備</p>	
施策担当課・係	生涯学習課 社会教育係、文化・文化財係	
施策関係課・係		

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	534,842				
事務事業数	16				
うち、事務事業評価対象	15				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数〔年間〕	回	79	108					141
生涯学習に関するイベント・市民講座参加者数〔年間〕	人	8,629	4,646					24,700
月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数〔年間〕	団体	70	66					70
成果指標による現状分析	<p>イベント・市民講座実施回数及び参加人数については、コロナ禍で中止が余儀なくされていたものの感染防止対策を実施しながらの再開や少人数での開催など内容の変更等により若干の回復が見られ、講座等の開催の全回数は基準値に対して約137%となりました。参加者数は集客数の多いイベントの中止が続き、また、産業文化会館のホールの工事などもあり約54%という結果となりました。</p> <p>生涯学習活動団体数については、コロナ禍により活動休止状態の団体もあり基準値を下回りました。</p>							

3 施策の進捗状況

達成度	△やや遅れている
評価の理由	<p>イベント・市民講座実施回数及び参加人数については、依然コロナ禍にあり従前の水準に戻っていない状況であるため遅れた状態となっています。</p> <p>また、月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数についても、コロナ禍で活動を休止した団体もあり基準値を下回りました。</p>

4 取組の状況と今後の方向性

① 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 音楽や美術等の芸術に触れる機会を確保するとともに、イベントや市民講座を継続して開催します。 専門知識や特技を持った市民、学校、市内の企業やNPO等の団体と連携し、文化財、高齢福祉等各種分野の取組を巻き込んで、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図ります。 イベントや市民講座は、できるだけボランティア等の地域の協力者を巻き込んで実施し、そのボランティアをきっかけに生涯学習活動に参加する人が増えるよう努めます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数、参加人数については平成29年度から令和元年度までは概ね順調に進捗し、回数においては令和元年度には最終目標値を達成していましたが、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大により、その数値は、実施回数で最終目標値の約56%、参加人数で約35%と大きく後退しました。令和4年度もコロナ禍による影響で中止となるイベントもあり、コロナ禍以前の水準までには回復できていない状況にあります。 昆虫の家、図書館、美術館では、ボランティア等の協力者を巻き込みイベント等（図書館は読み聞かせ、昆虫の家、美術館はイベント時の応援や施設環境整備のボランティア）を実施し、中央公民館では公民館の活動団体と連携したイベントを開催してきました。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響を受け下がった数値の回復を最優先としながら、計画最終年度の参加人数の目標を達成・維持するために市民のニーズをよりの確に捕らえ、魅力あるイベントや市民講座を計画し開催するよう努めます。 令和3年度より運用を開始した市の生涯学習人材バンク²と近隣市町村と連携し、その人材バンクも合わせて活用することで専門知識や特技を持った人材を活用し、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図ります。 ボランティアについては、昆虫の家、図書館についてはボランティアの協力を得た中でイベントを実施しており順調といえますが、今後は、公民館事業でのイベントや講座での連携へと広がっていきます。

② 市民による自主的な活動の育成・支援

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 自らの知識や特技を生かして市民講座を開きたい人、市民講座後も自主的に学習を継続したい人、地域で作品展を開きたい人等“活動したい人”を募って活動場所の紹介、仲間集めの助言、広報の手伝い等の支援を行います。 活動の目標ともなる成果発表の場や他団体とノウハウを共有する機会となる場を設ける等、生涯学習団体が活動を続けやすい環境を整備します。 市民による様々な活動や講師等の情報をデータベース化し、市民が気になる活動を見つけ、参加しやすい環境を整えるとともに、市民の参加や活動団体同士の交流を促すコーディネーターを配置して、ある時は参加者が主催者や講師となり、またある時は講師が運営を支える裏方となるような循環型の生涯学習社会の実現を目指します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> 社会教育認定団体などに対して、文月コンサートや生涯学習フェスティバルなどを開催することで、成果発表の場、他の団体との連携・つながりの場の提供に加え、社会教育委員にも参画してもらい、団体相互の情報交換の場を提供し、団体活動の活性化と継続支援、環境整備を行うなど取り組んできました。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、文月コンサートや生涯学習フェスティバルなどの活動成果の発表の機会を設けることが一時的に難しくなっています。未だコロナ禍以前の水準に戻りませんが、今後も継続して団体の活動成果の発表の機会と場を提供するなど活動の活性化の支援に努めます。 今後も継続して社会教育委員にも参画してもらい各利用団体の代表が集まる機会を設け、情報交換などを行うことで、各団体間の連携、つながりの場により団体活動の活性化支援を行います。 人材バンクについては、制度を開始したばかりで、まだ利用件数は少ない状況であるため、今後は制度の周知に努め、活用、利用件数の増加を目指します。

③ 活動拠点の整備

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習をはじめとする市民活動の拠点にふさわしい機能を確保するため、施設の老朽化対策の中で施設内容を充実させる建替えや改築、相乗効果を生み出す施設の集約化も考慮しながら適正配置等を検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した中央公民館、図書館の施設整備については、庁内プロジェクトチームにおいて検討を行ない、令和5年3月に基本構想を策定しました。今後はより具体的な建設に向けての方策を検討します。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> 現在、老朽化した中央公民館と図書館の複合施設整備に向け基本構想を策定中であり、併せて、その整備手法については、PPP/PFI事業(官民連携事業)の活用も含め検討します。 産業文化会館については、大規模改修を計画的に進めます。老朽化及び耐用年数を超える部分の改修について、市民及び利用者に対し説明が必要です。 公民館施設等は、老朽化が進んでいる施設が多いので、維持修繕を計画的に行います。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎ 拡充
施策方針に関する説明	<p>令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症による落ち込みを除けば、ほとんどの事業がおおむね順調に進んでいたと考えられることから、今後は最終目標の達成に向け継続して事業に取り組みます。内容としては、市民が参加しやすい多様な学習機会の提供を軸とし、コロナ禍で停滞した市民の自主的な活動の育成・支援を重点とし、併せて新たな活動拠点としての生涯学習複合施設の整備についても具体的な検討と計画策定に取組みます。</p>

² 『教えてみたいー学びたい』という気持ちをつなぎ、自主的な学習活動を応援することを目的として作成した講師情報をまとめたもの。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4		R5		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
150110	文化活動促進事業	41	21	73	16	×	③	生涯学習課
150111	陶芸研修所管理事業	3,102	2,529	2,510	1,813	△	③	生涯学習課
150112	産業文化会館事業	433,450	68,121	161,977	50,491	○	②	生涯学習課
150113	鉱物・陶芸館運営事業	7,321	6,092	8,316	6,843	○	③	生涯学習課
150114	胎内自然天文館運営事業	21,106	10,932	15,110	13,460	△	②	生涯学習課
150115	昆虫の森運営事業	11,947	5,897	13,385	6,024	○	②	生涯学習課
150116	市民講座学級事業	590	506	1,167	1,027	×	③	生涯学習課
150117	図書館管理事業	22,823	21,812	23,977	23,852	△	③	生涯学習課
150118	環境改善センター管理運営事業	6,419	6,027	5,959	5,862	△	③	生涯学習課
150119	一般経費中央公民館	8,503	7,992	9,588	9,164	△	③	生涯学習課
150120	一般経費黒川地区公民館	11,076	10,826	13,249	13,084	○	③	生涯学習課
150121	乙地区交流施設管理運営事業	5,117	5,008	5,919	5,835	○	③	生涯学習課
150210	社会教育振興事業	674	674	1,002	1,002	○	③	生涯学習課
150211	公民館文化振興事業	1,629	1,505	1,849	1,723	◎	③	生涯学習課
150212	生涯学習フェスティバル事業	317	317	474	474	×	③	生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150110		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	文化活動促進事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
				小	10	文化活動促進事業		04	公民館費
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け			任意			関連法規		
							関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	冬フェスタin中央公民館や文月コンサートなどの事業を通じて市民に文化活動の場を提供するとともに、参加者同士の交流の場とする。
主な実施内容	・冬フェスタin中央公民館の開催（12月） ※文月コンサートについては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	41	73			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	20	57			
一般財源	21	16	0	0	0
人件費（千円）	251	0	0	0	0
正(h) ※事業費	83	0	0	0	0
※専任(山) ※事業費	104	0	0	0	0
総事業費+人件費	292	73	0	0	0
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 20千円				
事業費の主な支出内容	消耗品費 41千円				
算出方法	参加者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/参加者				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単位コスト	4,317円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	
	目標	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	
	実績	①5講座 ②0団体			
成果指標	名称	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	
	目標	500人	500人	500人	
	実績	63人			
	目標比	12.6%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、冬フェスタin中央公民館については無料の講座を開催しなかったこと、また文月コンサートは中止したことによって参加者数が減った。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

冬フェスタin中央公民館については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無料の講座を開催しなかったが、今後は無料の講座を再開し参加者の増加につなげていく。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	冬フェスタin中央公民館において、教員のボランティアグループに各講座の指導の補助に入ってもらっている。

7 事業の課題

文月コンサートにおいて、参加してくれる音楽団体が固定化している。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
	・文月コンサートについては、出演団体が固定化しつつあるので、音楽団体に出演依頼を引き続き行い、参加者の増加につなげる。 ・音楽団体以外の団体が活動の成果を発表、披露する機会を作る。 また得た知識を家庭や地域へ持ち帰り還元させる意識作りに取り組む。 ・子どもたちが今、どのようなことに興味を持ち、関心を示しているのかを把握し開催する講座のリニューアルにつなげる。				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①	
	拡充	×	×	×	×
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	×	×	×
	縮小	×	×	×	×
	維持	×	×	×	×
	拡大	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150111		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	陶芸研修所管理事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	項目	06	社会教育費
				小	11	陶芸研修所管理事業	目	07	陶芸研修所管理費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令					
	法令による義務付け	任意		関連法規	胎内市陶芸研修所条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	陶芸を通じて、芸術活動に親しんでもらうことを目的に陶芸講座を開催し、参加者同士の交流や親睦をはかる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸講座の実施（年3回 春・夏休み（親子）・秋） 陶芸作品展の開催 陶芸研修所維持管理
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	3,102	2,510			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	573	697			
一般財源	2,529	1,813	0	0	0
人件費（千円）	893	0	0	0	0
正(h) ※事業費	477	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(h) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	3,995	2,510	0	0	0
財源「その他」内訳	材料費 373千円 参加費 200千円				
事業費の主な支出内容	陶芸講座指導委託料 1,721千円、空調設備設置工事 940千円、光熱水費 170千円、燃料費 105千円				
単位コスト	算出方法 参加者一人あたり収支（事業収入－総事業費（業務委託料除く））/参加者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△8,772円				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数		
	目標	5回	5回	5回		
	実績	5回				
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数		
	目標	180人	180人	180人		
	実績	92人				
	目標比	51.1%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 開催数の5回は達成されているものの、参加者数については、目標数を変更しないで募集人数を半数にしているため50%弱となり、やや達成されていないと判断した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 陶芸研修所敷地を参加者と協働で草刈りを実施 陶芸作品展の期間内において交流や親睦を図る座談会を開催 陶芸研修所に空調設備を取り付け、夕方に実施していた夏休み親子陶芸教室を午前中に変更した。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	陶芸研修所及び敷地内の清掃、草刈り補助。特に清掃に関しては参加者の方の意識も高く、自主的に率先して行っている。

7 事業の課題

参加者の大半がリピーターであるため、新規の参加者の増加を図るための情報発信の強化が必要である。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
陶芸に魅力を感じているリピーターの参加者が大半を占めるため、新規参加者の紹介等周知をお願いする。講座参加者による作品展と講師を招いた交流の場を企画し、参加者の創作意欲の増進を図る。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150112		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者	
事務事業名	産業文化会館事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大15	生涯学習	予算科目	款10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項06	社会教育費
				小12	産業文化会館事業		目05	産業文化会館費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令	関連計画		胎内市教育振興基本計画	
	法令による義務付け	任意		関連例規	胎内市産業文化会館条例			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民の生涯学習の推進及び文化振興と芸術意識の高揚を図り心を豊かにすることを目的とし、自主事業を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会館自主事業の実施 ・会館維持管理 ・長寿命化計画に基づく施設改修工事
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	433,450	161,977				
国・県支出金	0	0				
地方債	360,100	98,800				
その他	5,229	12,686				
一般財源	68,121	50,491	0	0	0	
人件費（千円）	2,023	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	1,080	0	0	0	0	
会計年度 ※任用(h) 費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	435,473	161,977	0	0	0	
財源「その他」内訳	使用料 1,389千円、商工会負担金等 3,840千円					
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> ●施設整備工事 379,864千円、施設改修工事監理委託 22,297千円、施設管理業務委託 12,315千円、光熱水費 9,595千円、空調設備保守業務委託 2,849千円、修繕費 1,376千円 					
単位コスト	算出方法	入場者1人あたり運営コスト（総事業費※+人件費）/入場者数 ※工事費・設計費を除く				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		1,673円				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数		
	目標	310日	310日	310日		
	実績	272日				
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数		
	目標	20,000人	70,000人	70,000人		
	実績	18,699人				
	目標比	93.5%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	来場者数については、4月から12月のホール休館を伴う改修工事により目標を達成する事が出来なかった。自主事業に関しては、改修工事によるホール休館により実施できなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[H30]	胎内市産業文化会館長寿命化計画策定（H31年3月）
[R4]	特定天井等改修工事（R3繰越）、舞台設備改修工事（R3繰越）、LED化工事、冷温水発生機更新工事、拡声設備放送架更新工事を行った。
[R4 特定天井等改修工事に伴い自主事業の実施無し]	

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	・自主事業の協働開催に向けた取り組みを検討する。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画をもとに、令和3年度には外壁や屋上防水の更新工事、令和3～令和4年度にかけて建築基準法の改正に伴うホール天井の耐震化と、老朽化の進んだ舞台・音響・照明設備などの大規模改修を予定しているため、令和4年内については多目的ホールの使用は不可であり、他の部屋についても駐車場の制限や工事騒音が発生することが懸念される。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画をもとに危険性の高い設備から計画的に改修を進めており、令和5年度の工事をもって一区切りとなるため、休館を伴うような大規模工事は終了となる予定。 ・来年度の自主事業については、産業文化会館アドバイザー委員と協議し、芸術性や教育性の高いイベント内容を検討する。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150113		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者		
事務事業名	鉱物・陶芸館運営事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
				小	13	鉱物・陶芸館運営事業		09	鉱物・陶芸館費
事務区分	法定受託事務	自治事務	○	根拠法令	胎内市粘土・鉱物体験資料館及び陶芸体験館条例		関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン	
	法令による義務付け	任意		関連例規					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	収集した日本と世界の鉱物、粘土とそれに関連した資料の展示と解説のほか、鉱物・粘土の学習指導や天然石を素材にしたアクセサリー作りと陶芸の体験教室を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営管理 体験教室及び出張教室の実施
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	7,321	8,316				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	1,229	1,473				
一般財源	6,092	6,843	0	0	0	
人件費（千円）	150	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	80	0	0	0	0	
委任(山) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	7,471	8,316	0	0	0	
財源「その他」内訳	入館料 760千円、アクセサリー体験等 190千円 売店収入 279千円					
事業費の主な支出内容	施設管理業務委託 5,027千円 光熱水費 1,292千円施設管理保守点検（警備・消防等）委託 276千円 消耗品費202千円 売店材料費 171千円 通信運搬費 64千円 印刷製本61千円 修繕費 55千円 手数料36千円 燃料費13千円					
単位コスト	算出方法	①利用者一人当たりにかかるコスト（総事業費＋人件費÷利用者数）②利用者一人当たりの収支（（事業収入－（総事業費＋人件費））÷利用者数）				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		2749.7円				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数		
	目標	105日	105日	105日		
	実績	103日				
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数		
	目標	3,000人	3,000人	3,000人		
	実績	2,717人				
	目標比	90.6%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	目標値3,000人に対し実績は2,717人で、90.6%であり、目標値を概ね達成している。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 常設展示を一部新設 企画展示を実施 開館日数減により施設管理委託料を削減（R1） 4月～11月に日を決めて、天然石・アクセサリー作り体験及び化石・鉱物解説案内を実施した。 JAF会員に対する優待割引を開始（R3）
--

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	鉱物の観察、採集活動等にかかるボランティアがいることは望ましいと思われるが、現在のところ導入の目途は立っていない。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した結果、効率は改善されたが学校との連携や平日の団体利用の希望などを受け入れにくくなっており、柔軟な対応が可能になるよう体制を考える必要がある（スタッフのシフト調整などである程度対応している）。 現在の専門員はすでに高齢であり、若い専門員を必要としている。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
利用状況に応じた開館日に見直して効率的な運営を行うことで、経費の削減を図っている。令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した。					
様々な改善に取り組みつつあったものの、魅力的な展示への更新、積極的なPRなどを必要としている。鉱物採集ツアーの人気から一般市民の鉱物への関心、ニーズはあると思われる。					
令和元年度からの開館日数減により、算出指標の目標値を105日、成果指標の目標値を3,000人とした。					
令和3年度より、日本自動車連盟（JAF）会員向けに入館料の優待割引を開始した。施設のPRのほか、有料の体験メニューへのハードルが下がるなどの効果が期待できる。					
専門員が不在となり、現在は月1～2回ほど外部から専門家を招いて展示や解説、質問などに対応しているが、専門員の常駐が望ましい。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
			削減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150114		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者				
事務事業名	胎内自然天文館運営事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習			中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
					小	14	胎内自然天文館運営事業		目	10	文化教育交流促進施設費（胎内自然天文館）
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市文化教育交流促進施設条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	農山村の自然・天体知識及び科学教育の啓発のため、館内の展示案内を行うほか、定期的に天体観察等の教育普及事業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 自然や天文について紹介するとともに解説や学習指導・体験活動により自然保護に対する理解を図る。 望遠鏡及び双眼鏡を活用し、昼間・夜間の観望会や出前教室を行う。 施設管理をする。
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	21,106	15,110			
国・県支出金	0	0			
地方債	8,600	0			
その他	1,574	1,650			
一般財源	10,932	13,460	0	0	0
人件費（千円）	1,217	0	0	0	0
正(h) ※事業費	650	0	0	0	0
※委嘱(年) ※委任(月) ※兼務	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	22,323	15,110	0	0	0
財源「その他」内訳	入館料 907千円、売店収入 667千円				
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> ●施設整備工事 8,700千円、施設管理業務委託料 7,361千円、光熱水費 1,829千円、 				
算出方法	(総事業費＋人件費) / 入場者数 ※工事費を除く				
実績	1,949円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	200日	200日	200日	
	実績	199日			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	
	実績	6,367人			
	目標比	79.6%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・お盆の特別観望会がコロナウイルス感染症対策のため中止となり、夏の一大イベントである「胎内星まつり」が無観客開催であったため、8月の利用者が大きく落ち込んだ。 				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・屋外イベントは、天候不順による当日キャンセルや中止になるケースが多いため、天候に左右されない屋内イベントや曇りでも開催可能な胎内平自然観望会を開催した。 ・SNSを使った投稿やインターネットライブ配信により天文館をPRした。 【R4 実施事業】 ・屋上防水改修工事を実施した。 ・定期・特別観望会の実施、望遠鏡づくり（年3回）、星空のヨガ（年3回）、初めての星空写真教室（年1回）、自然観察会（年6回）、街角観望会、コミュニティ放送FMしばたの天文系番組を担当、イオン新発田出張観望会（年1回）
--

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	・観望会の解説指導員など専門スタッフの育成に向けた取り組み。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・天文館は、天候に恵まれない状況でも展示物及び説明映像のみの見学が可能だが、同館の主な用途は天体観測であることから、入館者数はどうしても天候に左右される。 ・天文館の立地条件や公共交通機関がないことから、交通手段を持たない層の誘客が見込めない。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
<ul style="list-style-type: none"> ・曇天や小雨でも開催可能な自然や生物に焦点をあてた自然観測会のプログラムを企画し、天文館のPRと市内外からの新しい層の集客を図る。 ・コミュニティ放送FMしばたの天文系新番組を担当し、宇宙や天体の魅力を伝え、天文館やイベントの周知・誘客を図る。 ・天文館のイベント活動補助や学びを目的とした「ジュニアスタッフ」を新規に募集する。 ・悪天候で観望会ができない場合のことを考えて、あらかじめ好条件時にカメラやビデオで録画しておき、来館者に視聴してもらう。 ・ホールの常設展示については、季節に合わせた装飾や雰囲気作り、天文情報等のパネルの展示など定期的に更新し、飽きさせない工夫をする。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	⑦	⑧	休廃止	⑦	⑧	⑨	削減	⑧	⑨	⑩
	拡充	④	②	①																		
	維持	⑤	③	④																		
	縮小	⑥	⑦	⑧																		
	休廃止	⑦	⑧	⑨																		
削減	⑧	⑨	⑩																			
コスト投入の方向性	<table border="1"> <tr> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	縮小	維持	拡大																		
縮小	維持	拡大																				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150115		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	昆虫の森運営事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	15	昆虫の森運営事業		目	11	昆虫の森費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連法規	胎内市昆虫の家条例	関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	昆虫に関する資料の展示と解説のほか、昆虫に関する学習指導や企画展、体験教室等を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 常設展の開催 企画展の開催 ふれあい体験の実施 昆虫教室の実施 市内学校への出張教室、他団体との共催による事業等を実施
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	11,947	13,385				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	6,050	7,361				
一般財源	5,897	6,024	0	0	0	
人件費（千円）	3,626	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	1,936	0	0	0	0	
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	15,573	13,385	0	0	0	
財源「その他」内訳	使用料 4,352千円、売店収入 1,695千円 昆虫教室参加費等 3千円					
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 5,565千円 光熱水費 3,174千円 売店材料 1,296千円 消耗品費 659千円 施設管理保守点検（警備・消防等）委託 359千円 使用料・賃借料 235千円 印刷製本費 169千円 燃料費 105千円 手数料 87千円 修繕費78千円 飼料費 77千円 保険料 71千円 負担金5千円 積立金1千円					
単位コスト	算出方法	①利用者一人当たりのコスト（総事業費＋人件費／利用者数） ②利用者一人当たりの収支（（事業収入－（総事業費＋人件費））／利用者数）				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		900.9円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	226日	226日	226日	
	実績	226日			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	20,000人	21,000人	21,000人	
	実績	17,289人			
	目標比	86.4%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	令和元年度から目標値を20,000人とし、令和4年度の実績は17,289人で、目標の86.4%であった。目標をおおむね達成している。コロナ禍によるGWやお盆期間の分散利用の呼びかけ、9月前半の休館期間があったにもかかわらず前年から高い水準を維持している。JAF会員対象の優待割引を実施した効果があるとも考えられるが、コロナ禍の特殊な状況によるものだった可能性もあり、断定しにくい。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 展示の改善、新規の生態展示をほぼ毎年行っている。 学校との連携、出張授業等について前年までの回数を維持（ただしR2年度はすべて中止）（以上、いずれもコスト増加は無し） 虫とりチャンピオン大会スペシャルin奥胎内を実施（H30実施費約500千円） 日本自動車連盟（JAF）との契約で会員対象の入館料割引を実施。PRを強化
<p>[R2～3 実施事業] ※コロナ禍でも実施できた事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ギフチョウ羽化体験（R3年度のみ）・チョウ展に併せて開催 春のミニ企画展（R3、4年度）、夏の特別展「巨大カブト・クワガタ大集合」

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	施設ボランティアなどの導入が考えられるが、作業内容など検討すべき課題が多い。

7 事業の課題

<p>辺地債により旧館空調はR3年度に更新工事が完了したが、全体的に施設、設備の老朽化は進んでおり、バリアフリー化、展示のリニューアルなども検討課題と言える 様々な教育関連事業への連携、協力依頼は増える傾向にあるが、人員削減・管理委託の影響もあり展示内容は大きな変更がしにくい状態にある。PRや新しい企画などで利用者増を図る必要がある。 また施設、設備の老朽化も大きな課題で、可能であればバリアフリー化、展示のリニューアルなどは今後の検討課題と言える。 これまでの成果指標の目標値は、現状を考慮すると大きすぎると思われ、20,000人とするのが妥当と思われたので、令和元年度目標より変更した。</p>
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	○	④	②	①
	維持	○	⑤	③	○
	縮小	○	⑥	○	○
	休廃止	○	⑦	○	○
	削減	○	○	縮小	維持
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150116		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	市民講座学級事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
				小	16	市民講座学級事業		04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連法規		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が新しい知識と教養を深め、また交流をはかることを目的として高齢者大学を通年開催するほか、食に関する興味、関心を高めるため、マナビップ講座を開催する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学の開催 ・市民講座等の開催
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	590	1,167			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	84	140			
一般財源	506	1,027	0	0	0
人件費（千円）	1,128	0	0	0	0
正(h) ※事業費	570	0	0	0	0
※委任(山) ※委託	65	0	0	0	0
総事業費+人件費	1,718	1,167	0	0	0
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 84千円				
事業費の主な支出内容	消耗品費 196千円 時間外勤務手当 120千円 自動車借上料 119千円 講師謝礼 99千円				
算出方法	高齢者大学学生1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/延べ参加者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単位コスト	2,590円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	
	目標	4地区	4地区	4地区	
	実績	4地区			
成果指標	名称	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	
	目標	1,450人	1,450人	1,450人	
	実績	632人			
	目標比	43.5%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	高齢者大学においては、コロナ禍により学生の参加控えや学生数の減少により参加者が減少している。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

高齢者を対象とした事業だけでなく、そば打ち教室や若年層をターゲットにしたパッチワーク教室、子どもたちを対象としたワークショップなどを開催し、普段あまり公民館事業に参加することのない年齢層の利用者の増加に努めている。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的状況	子どもたちを対象としたワークショップにおいて、普段公民館で活動している学習者に講師をお願いしている。学習者自身にとっても学習成果の還元の良い機会となっている。

7 事業の課題

若年層の公民館事業への参加を促すための事業、イベントの開催が必要。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
・高齢者に偏った事業のみではなく、公民館利用者層の幅を広げるため、若年層をターゲットにした事業を企画する。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150117		担当課	生涯学習課		担当係	社会教育係		担当者	
事務事業名	図書館管理事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	17	図書館管理事業		目	06	図書館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	図書館法、図書館法施行令、図書館法施行規則				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市図書館条例			関連計画	
						胎内市教育振興基本計画、胎内市子ども読書推進計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	図書館を運営し市民に図書資料や情報等の提供と学習の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集、保存 資料貸出（一人5冊まで、2週間） 土、日曜日の開館 夜間開館時間の延長（火～金、19時まで開館） リクエスト制度 レファレンス 相互貸借（他館への貸出、他館からの借受） 団体貸出（小中学校等への貸出） 市内小中学校図書室の環境整備、読書指導等（担当の司書が巡回） 施設の維持管理
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	22,823	23,977			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	1,011	125			
一般財源	21,812	23,852	0	0	0
人件費（千円）	7,054	0	0	0	0
正(h) ※事業費	3,766	0	0	0	0
※委任(の) 委託年度(の) 委費	○ 8,163	0	0	0	0
総事業費+人件費	29,877	23,977	0	0	0
財源「その他」内訳	教育振興費寄附金 990千円、図書館使用料 21千円				
事業費の主な支出内容	会計年度任用職員給料 10,127千円、図書 3,672千円、消耗品費 801千円、光熱水費 3,124千円、修繕費 245千円、図書館情報システム賃貸借料 2,339千円、図書館情報システム保守点検委託料 940千円、清掃業務委託料 988千円、施設管理委託料 497千円、施設工事費 209千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	年度末蔵書数	年度末蔵書数	年度末蔵書数	
	目標	75,000冊	75,000冊	75,000冊	
	実績	88,258冊			
成果指標	名称	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	
	目標	70,000冊	70,000冊	70,000冊	
	実績	55,365冊			
	目標比	79.1%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	4年度も新型コロナウイルスの流行期に来館者数の減少傾向が見られ、貸出冊数についてもその影響を受けたと考えられる。（前年度比 約△1%）				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

学校関連の事業（職場体験、施設見学の受入など）や、フリー参加のイベントなど、コロナ下で自粛されていたものが再開できた。特にイベントではまだ参加者は少ないが、来館のきっかけにもなるので、内容などを工夫して来館者の増加につなげられればと思う。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	読み聞かせボランティアの協力のもと毎月2回、館内での子どもに対する読み聞かせを行っている。

7 事業の課題

①これまでの実績値から、貸出冊数自体は依然減少を続けている傾向に変わりはないと考えている。まずはコロナ禍以前の水準まで戻せるかが課題。
②施設は、耐震補強を行ったものの施設の老朽化自体は進んでおり、また元々図書館として造られた建物ではないところから利便性・機能性も悪く、蔵書・書架の増加に伴い、全体的に手狭となっている。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
①これまでどおり、貸出利用の少ない年齢層（10代から20代）への働きかけを行うと同時に、従来の利用者層にも何らかの働きかけを行い、利用者数の底上げをしていく必要がある。 ②現在、老朽化した中央公民館と図書館の複合施設整備に向け基本構想を策定中であり、併せて、その整備手法についてはPPP/PFI事業（官民連携事業）の活用も含め検討中である。					

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	今後の方向性				
	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150118		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	環境改善センター管理運営事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	06	農林水産業費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	項目	01	農業費
				小	18	環境改善センター管理運営事業	目	03	農村環境改善センター費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令	胎内市農地農村環境改善センター条例、胎内市役所建築証明交付条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画	
	法令による義務付け	任意		関連例規					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 諸証明交付 公民館事業の企画 図書の出出し 地域住民の交流活動の場の提供
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	6,419	5,959				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	392	97				
一般財源	6,027	5,862	0	0	0	
人件費（千円）	3,156	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	1,685	0	0	0	0	
委任(h) ※事業費	1,755	0	0	0	0	
総事業費+人件費	9,575	5,959	0	0	0	
財源「その他」内訳	施設使用料22千円、鹿ノ俣発電線入金370千円					
事業費の主な支出内容	会計年度職員報酬1,624千円、光熱水費973千円、修繕費601千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		1,071円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	243日	243日	243日	
	実績	263日			
成果指標	名称	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	
	実績	5,988人			
	目標比	74.8%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルスの対策を行いながら中止となっていた事業の再開や、活動を自粛していた団体の活動再開により利用人数が増加した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

地域住民が利用したいと思える施設を目指し、高齢者大学や、市民講座を行った。市民講座では、人気定着しているおがみ講座をメインに実施した。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	現状において協働実施を検討する案件がない。

7 事業の課題

築年数が34年経過し施設の老朽化が進んでおり、毎年修繕が必要な状況。平成30年度から令和3年度までに屋上防水工事、多目的ホール天井の耐震改修工事、非常灯取替工事などを行っている。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
施設利用者数が減少傾向にあり、現在行っている事業以外にも施設の魅力を生かした新たな企画を行い、施設利用の需要を増やす。 市が指定する一次避難所として、施設の老朽箇所にも目を向け今後も修繕を行う。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150119		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	一般経費中央公民館		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	項目	06	社会教育費
				小	19	一般経費中央公民館	目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令	社会教育法				
	法令による義務付け		任意	関連例規	胎内市公民館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	学習と仲間作りの拠点施設として学習者、活動者にとって利用しやすい場を提供する。また、主催事業の開催や、社会教育団体への支援を通じて、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 公民館事業の企画 社会教育団体に対する支援、育成 各種団体事務局事務
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	8,503	9,588				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	511	424				
一般財源	7,992	9,164	0	0	0	
人件費（千円）	2,435	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	1,301	0	0	0	0	
※任用(h) ※事業費	1,200	0	0	0	0	
総事業費+人件費	10,938	9,588	0	0	0	
財源「その他」内訳	中央公民館使用料 511千円					
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 2,447千円 会計年度職員報酬 1,670千円 光熱水費 1,524千円 清掃業務委託料 493千円 修繕費 331千円 会計年度職員期末手当 326千円 暖房機取替工事 289千円 会計年度職員社会保険料 250千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費(一般財源)+人件費/利用者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		656円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	359日	359日	359日	
	実績	359日			
成果指標	名称	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	
	目標	24,000人	24,000人	24,000人	
	実績	15,776人			
	目標比	65.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	利用団体の解散、団体内の会員数の減少、また利用回数の減少などにより利用者数は減少傾向にあり目標を達成できていない。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

利用の少ない中高年以下の世代を対象とした講座を開催し、公民館の新規利用者の増加に努めている。（親子そば打ち道場や子ども向けワークショップの開催）
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	中央公民館で活動している団体の受講者に講師となってもら事業を実施して、自らの学習成果の還元の良い機会にもなっている。

7 事業の課題

新規利用者を増やすための事業の開催、活動団体内の会員減少に歯止めをかけるための支援が必要
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
魅力ある講座を開設し、公民館になじみのない市民に利用してもらうことにより利用者の増加につなげる。 現在、老朽化した中央公民館と図書館の複合施設整備に向けプロジェクトチームにおいて検討を重ねており、整備手法については、PPP/PFI事業(官民連携事業)の活用も含め検討中である。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①	
	拡充	⑤	③	④	
	維持	⑥	④	⑤	
	縮小	⑦	⑤	⑥	
	休廃止	⑧	⑥	⑦	
削減	⑨	⑦	⑧		
縮小	⑩	⑧	⑨		
維持	⑪	⑨	⑩		
拡大	⑫	⑩	⑪		
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150120		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者	
事務事業名	一般経費黒川地区公民館		事業年度	令和4年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大15	生涯学習	予算科目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
				小20	一般経費黒川地区公民館		04	公民館費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令	社会教育法			
	法令による義務付け	任意		関連例規	胎内市公民館条例、胎内市就業改善センター条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯学習を通じて教養を深めるとともに市民に交流を促進する場を提供する。また、地区公民館の企画実施、施設の維持管理と環境整備、利用に関する受付、貸館業務、図書貸出業務、社会教育団体への支援を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 黒川展覧会の開催 ふるさと芸能発表会 ヤマボウシ大学の実施 施設管理
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	11,076	13,249				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	250	165				
一般財源	10,826	13,084	0	0	0	
人件費（千円）	3,527	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	1,883	0	0	0	0	
※会計年度任用(h) 事業費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	14,603	13,249	0	0	0	
財源「その他」内訳	使用料 140千円、教育振興費寄附金 110千円					
事業費の主な支出内容	会計年度職員報酬 1,671千円、光熱水費 3,186千円、施設管理委託料 943千円、施設整備工事 2,166千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		1,740円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	359日	359日	359日	
	実績	359日			
成果指標	名称	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	
	目標	9,000人	9,000人	9,000人	
	実績	8,393人			
	目標比	93.3%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響等で、利用団体のキャンセル・利用中止及び図書室利用者の減少、ふるさと芸能発表会の中止などあり、利用人数が減少した。前年より増加したが、目標を達成できなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

事業の充実を図るべく、財源を確保し、施設の修繕を継続して行っている。

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	これまで協働を検討してこなかったが、現在模索中。

7 事業の課題

施設の老朽化が著しく、建物の維持管理にかかる経費が多かかっている。順次修繕は行っているが、追い付いていない。また、高圧受変電設備、非常用発電機等の早期改修が必要となるが、今後の施設利用と営繕のバランスを取りながらどうするか検討中である。また、他の公民館に比べイベント・講座の実施回数が若干少ない。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
・築45年が経過し、建物及び設備の老朽化が著しく、最低限の施設改修など検討する。					
・ニーズを把握しイベント・講座の開催回数を増やす。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性		拡充	④	②	①
		維持	⑤	③	⑥
成果の方向性	縮小	⑥	⑦	⑧	⑨
	休廃止	⑦	⑧	⑨	⑩
	削減	⑧	⑨	⑩	⑪
コスト投入の方向性		削減	維持	拡大	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150121		担当課	生涯学習課		担当係	社会教育係		担当者	
事務事業名	乙地区交流施設管理運営事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項目	06	社会教育費
				小	21	乙地区交流施設管理運営事業		目	13	乙地区交流施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市乙地区交流施設条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	施設の管理運営及び諸証明交付や公民館事業の企画実施、図書の貸出を行い、地域住民の交流活動の場を提供。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	5,117	5,919				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	109	84				
一般財源	5,008	5,835	0	0	0	
人件費（千円）	1,862	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	994	0	0	0	0	
※委任(の) 委託年度(の) 委託費	○ 1,799	0	0	0	0	
総事業費+人件費	6,979	5,919	0	0	0	
財源「その他」内訳	使用料 109千円					
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,983円、光熱水費 988千円、施設管理保守点検委託料 621千円、清掃業務委託料 291千円、施設管理委託料 216千円、通信運搬費 115千円、火災保険料 104千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		861				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	243日	243日	243日	
	実績	287日			
成果指標	名称	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	
	実績	7,981人			
	目標比	99.8%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	コロナ禍に伴う人数制限、活動自粛等があったものの、ワクチン効果などにより、年度後半においては利用者の増加がみられ、目標値は概ね達成された。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

市民が利用しやすい施設としての運用を心掛け、利用者のニーズを取り入れた事業の実施回数を増やすなど利用者数の増加を図った。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	地域の有志の方々と組織する「きのと生きいきクラブ」による施設清掃、施設管理等の業務委託を実施している。

7 事業の課題

比較的新しい施設のためか、まだまだ市民の認知度が低いため、魅力的な市民講座を積極的に企画することや、情報発信を強化するなどの取り組みが必要である。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
利用しやすい施設とは何なのかを検証するために、アンケート調査を実施するなど、利用者のニーズを把握するとともに、使用料等の見直しの検討を進める。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150210		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	社会教育振興事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習		中	02	市民による自主的な活動の育成・支援	予算科目	項	06	社会教育費
				小	10	社会教育振興事業		目	01	社会教育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	社会教育法					
	法令による義務付け			関連例規	胎内市社会教育委員条例ほか		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会教育委員の委嘱により、市民のニーズに沿った社会教育関係事業の企画や有効性の検討、また、社会教育関係団体の支援により生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体の育成、支援、補助金交付 社会教育関係事業等の検討、助言、調査研究
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	674	1,002			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	674	1,002	0	0	0
人件費（千円）	150	0	0	0	0
正(h) ※事業費	80	0	0	0	0
会計年度 ※任用(h) 費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	824	1,002	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	社会教育委員報酬 160千円 文芸たない誌代 250千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	
	目標	3回	3回	3回	
	実績	3回			
成果指標	名称	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	
	目標	44団体	44団体	44団体	
	実績	39団体			
	目標比	88.6%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標については目標を概ね達成しているが、今後も目標値の達成に努める。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

市民の意見を事業に反映させるため、社会教育委員からの意見を取り入れ、また、事業の運営等にもかかわってもらいながら、社会教育団体同士の情報交換や交流を図る事業を行なっている。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	社会教育委員との協働により社会教育認定団体間の連携促進（情報共有、問題解決など）のためのイベントを実施。

7 事業の課題

社会教育認定団体数について、現状、目標はほぼ達成しているが、団体の構成メンバーの高齢化、固定化が進んでいるため、今後減少が予想される。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
市民のニーズを把握するとともに、社会教育委員に事業の運営等にも参加してもらうことで事業に対する意見いただき、それらを合わせ事業計画に反映させる。また、講座・イベントなどの実施については、社会教育団体を巻き込み、連携・協働することで団体の成長を促すことも併せて行う。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	⑧			
コスト投入の方向性	縮小	維持	拡大		

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150211		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者	
事務事業名	公民館文化振興事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大15	生涯学習	予算科目	款10	教育費
主要施策	5	生涯学習		中02	市民による自主的な活動の育成・支援		項06	社会教育費
				小11	公民館文化振興事業		目04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画	胎内市教育振興基本計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が文化・芸術活動を発表する機会や親しむ機会を提供することにより、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展覧会の開催 ・ジュニア美術展覧会の開催 ・県展開催
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	1,629	1,849			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	124	126			
一般財源	1,505	1,723	0	0	0
人件費（千円）	212	0	0	0	0
正(h) ※事業費	168	0	0	0	0
※事業費(任用) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	1,841	1,849	0	0	0
財源「その他」内訳	美術展覧会出品料 124千円				
事業費の主な支出内容	パネル組立解体委託料374千円、運営委員謝礼360千円、印刷製本費270千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数		
	目標	4日間	4日間	4日間		
	実績	4日				
成果指標	名称	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数		
	目標	2,100人	2,100人	2,100人		
	実績	2,588人				
	目標比	123.2%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	感染症対策を行い、第75回県美術展覧会及び第16回胎内市美術展覧会を実施した。コロナワクチン集団接種による会場変更など、想定外の事態に対応しつつ、事業を実施することができた。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

コロナ禍が終息しない中ではあったが、対策を実施しながら県展を開催し、鑑賞機会の提供による芸術活動の振興を図った。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	美術展覧会開催期間中、受付等業務をボランティアで実施。

7 事業の課題

運営委員の高齢化が課題。運営委員の継続が難しいとの話も聞いており、市として後継者を探すなどの対応が必要。また、出品者も同様に高齢化が進んでおり、出品数が減少傾向である。周知方法を再検討するなど、新しい出品者が増えるよう、広報の方法を工夫する必要がある。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
・各部門の公民館利用団体の代表及び近隣高校等へ市展開催の周知を行い出品者の増加を目指す。					

9 二次評価委員会所見

次回、県展の開催について、定住自立圏での開催等、より良い開催方法を検討すること。（R4、R5）

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	×	×	×
	維持	×	⑤	③
	縮小	×	⑥	×
	休廃止	⑦	×	×
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	150212		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	生涯学習フェスティバル事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習			中	02	市民による自主的な活動の育成・支援	項目	06	社会教育費
					小	12	生涯学習フェスティバル事業	目	02	生涯学習推進費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			関連計画	胎内市教育振興基本計画	
	法令による義務付け		任意		関連例規					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	11月を「生涯学習強調月間」として、市民の日々の生涯学習の成果を発表する場を提供するとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	参加団体会で実行委員会を組織し、期間中に行われる文化、芸術、産業、スポーツなど、市民参加の生涯学習イベントを産業文化会館を中心とした市内各施設で開催する。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	317	474			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	317	474	0	0	0
人件費（千円）	676	0	0	0	0
正(h) ※事業費	○ 404	0	0	0	0
※事業費					
※事業費					
※事業費					
総事業費+人件費	993	474	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	印刷製本費 107千円、職員手当等 82千円、手数料 36千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	
	目標	10日間	10日間	10日間	
	実績	22日間			
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	
	目標	7,000人	7,000人	7,000人	
	実績	1,671人			
	目標比	23.9%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	コロナ禍の影響及び産業文化会館の改修工事により参加団体が少なくなったため、来場者数の目標値には達成しなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

開催に向けて参加団体会へ改修工事に伴う制約や代替案の事前周知を実施し、その後に参加の募集を行った。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	参加団体会が自主的に活動できるよう、市が前面に出るのではなく、協力しながらバックアップに回り、全体を補佐した。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> フェスティバル開催期間は産業文化館の貸切使用の可能が原則だが、実際は市の事業を優先しなければならない。 時期的にイベントが多いことで土日の日程の確保が難しい。そのため20日を超える長期の開催期間となっている。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
来場者数の増加を図るため、開催期間の短縮・参加団体会の同時開催などの協議・検討を進める。また、フェスティバル開催にあたっては、それぞれの参加団体会が互いに連携・協力し、自主的に開催できる体制を構築する。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					